

クニミネ工業株式会社

2022年3月期
決算説明会

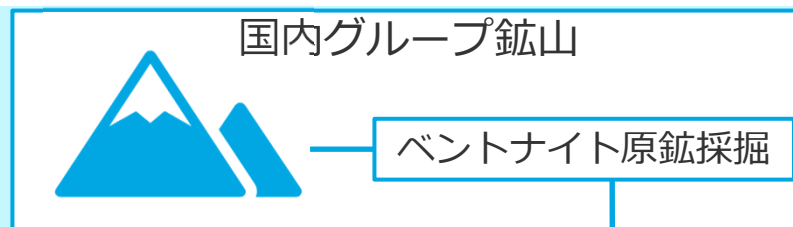
2022年6月10日
スタンダード市場
証券コード：5388

当社ビジネスモデル・事業目的

当社ビジネスモデル

ベントナイトの採掘、加工、販売のニッチトップ企業

ベントナイト 採掘



国内競合:全国展開1社、地域3~4社

海外ベントナイト原鉱



アグリ 事業 42P

国内外
農薬・除草剤
製造元

原体支給

受託加工

クニミネ工業
グループ
製造・加工

国内シェア
: 約60%

販売

ベントナイト事業

鋳物 分野 39P

国内
輸送機器
建機、農機
鋳材商社

販売
技術支援

アセアン
日系
輸送機器
建機、農機

土木 分野 40P

国内
ゼネコン
建設会社
建材商社

ペット 分野 41P

コンビニ
ホームセンター
スーパー

販売

国内シェア
: 約47%

化成品 事業 43P

国内外
各種製造元
(化学・化粧品等)

ライフ サイエンス 事業 44P

畜産業者
食品製造元

『資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する』

当社グループは、貴重な地下資源である「ベントナイト」の採掘・製造・販売を中心事業に、アグリ事業、化成品事業、ライフサイエンス事業の4事業を展開しております。未来のニーズを創造することで、お客様に新しい価値を提供し続けています。

■ ベントナイト事業

- モンモリロナイトを主成分とする粘土鉱物を加工し、膨潤性・増粘性などの特性を活用して、様々な事業分野に展開

■ 鋳物分野

『耐熱特性に応じた製品、体系化した技術を通じて、素形材産業にソリューションを提供する』

- 鋳物用成型砂の粘結材

■ 土木分野

『土と水にイノベーションを起こし、地球環境問題に貢献する』

- 掘削地盤の壁面保護や地盤との隙間充填材

■ ペット分野

『ペットとの暮らしに快適さを与え、社会に癒しと笑顔を創造する』

- 猫用トイレ砂

■ アグリ事業

『農薬粒剤の生産活動を通じて、食の安定供給に貢献する』

- 農薬粒剤の受託加工、農薬向け原材料

■ 化成品事業

『粘土の未知なる魅力を発見し、粘土の力で世界を変える』

- 高機能品(精製ベントナイト、合成スメクタイト等)

■ ライフサイエンス事業

『生命を事業領域と捉えて、粘土の可能性を追求する』

- 畜産向け飼料添加物

1 業績トピックス

2 2022年3月期 決算概要

3 2023年3月期 予想

4 中期経営計画の状況

5 サステナビリティへの取り組み



グループ全体 ⇒ 増収減益

(売上：+5% 営利：▲26%)

コロナ禍の反動もあり、売上は前年を上回るが
原料高により減益



化成品事業 ⇒ 増収増益↑

(売上：+25% 営利：+132%)

国内外全方面で需要が回復



鋳物分野(ベントナイト事業) ⇒ 増収減益

(売上：+22% 営利：▲29%)

自動車生産台数回復により復調するも原料高で減益

1 業績トピックス

2 2022年3月期 決算概要

3 2023年3月期 予想

4 中期経営計画の状況

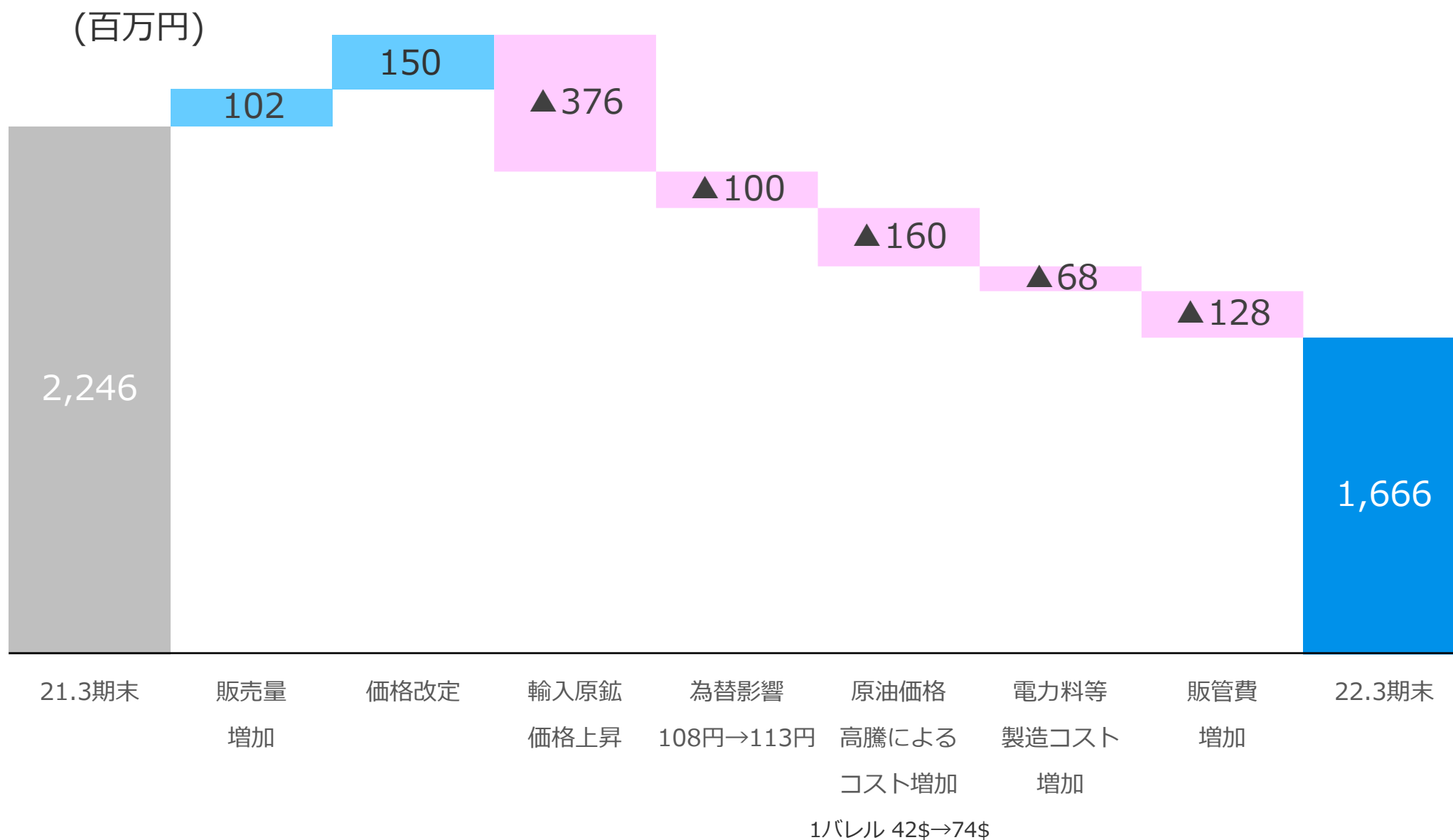
5 サステナビリティへの取り組み

2022年3月期 決算概要

- 売上はコロナ影響の反動もあり、前年を上回り概ね計画を達成
- 利益項目は為替変動、原油価格高騰の影響等により計画・前年共に下回る

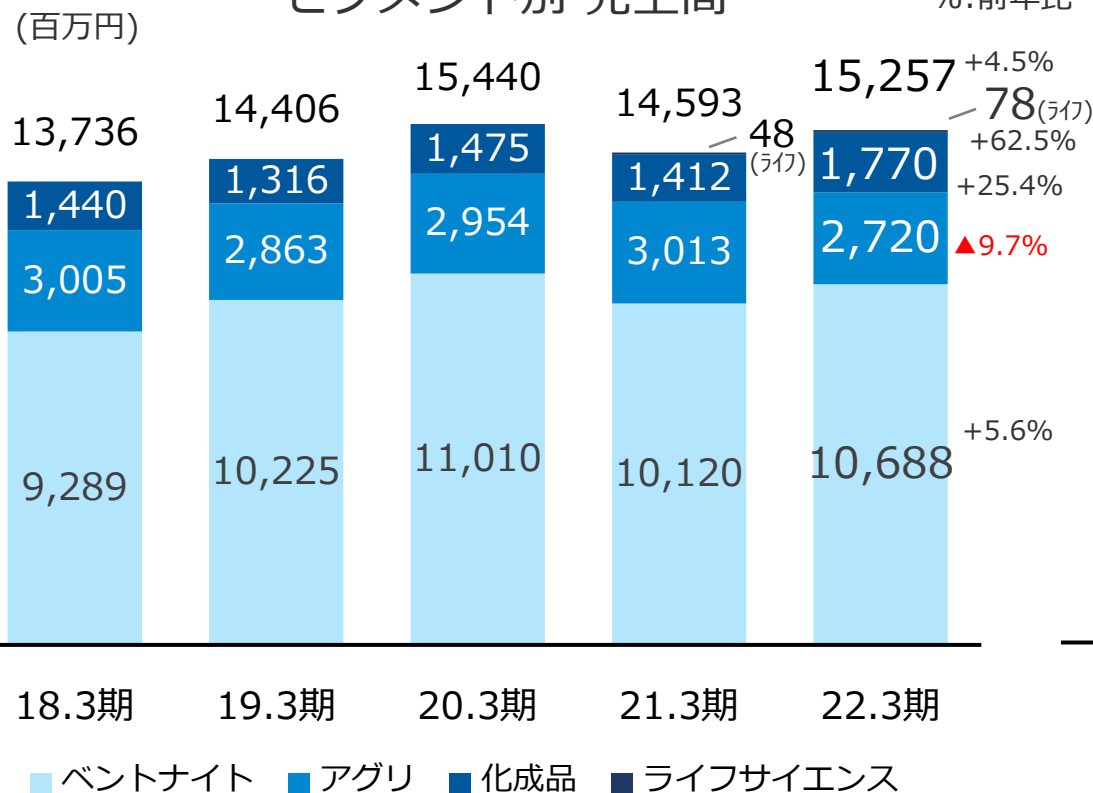
(百万円)	2021年 3月期	2022年 3月期	前年同期比	2022年 3月期計画 (21年10月修正)	計画比
売上高	14,593	15,257	4.5%	15,300	▲0.3%
営業利益	2,246	1,666	▲25.8%	2,000	▲16.7%
経常利益	2,409	1,913	▲20.6%	2,100	▲8.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,681	1,301	▲22.6%	1,400	▲7.1%

2022年3月期 営業利益増減要因(対前年)



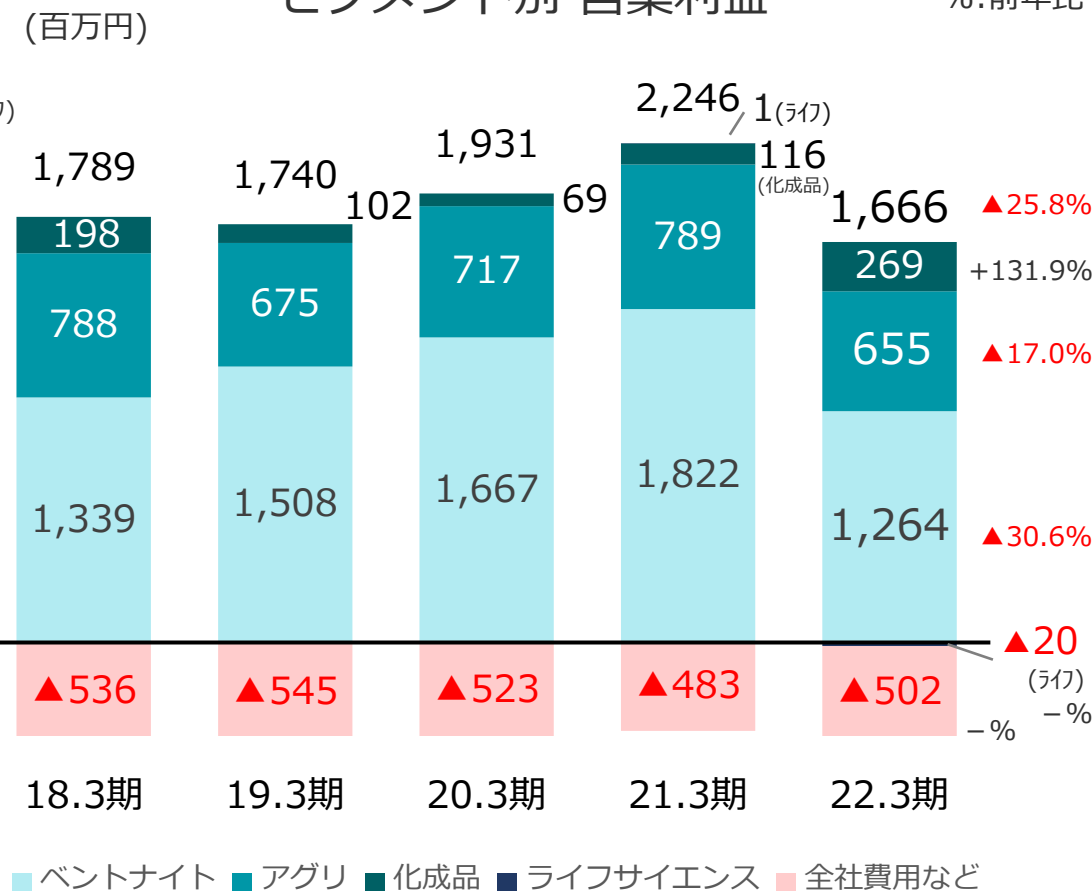
セグメント別業績

セグメント別 売上高



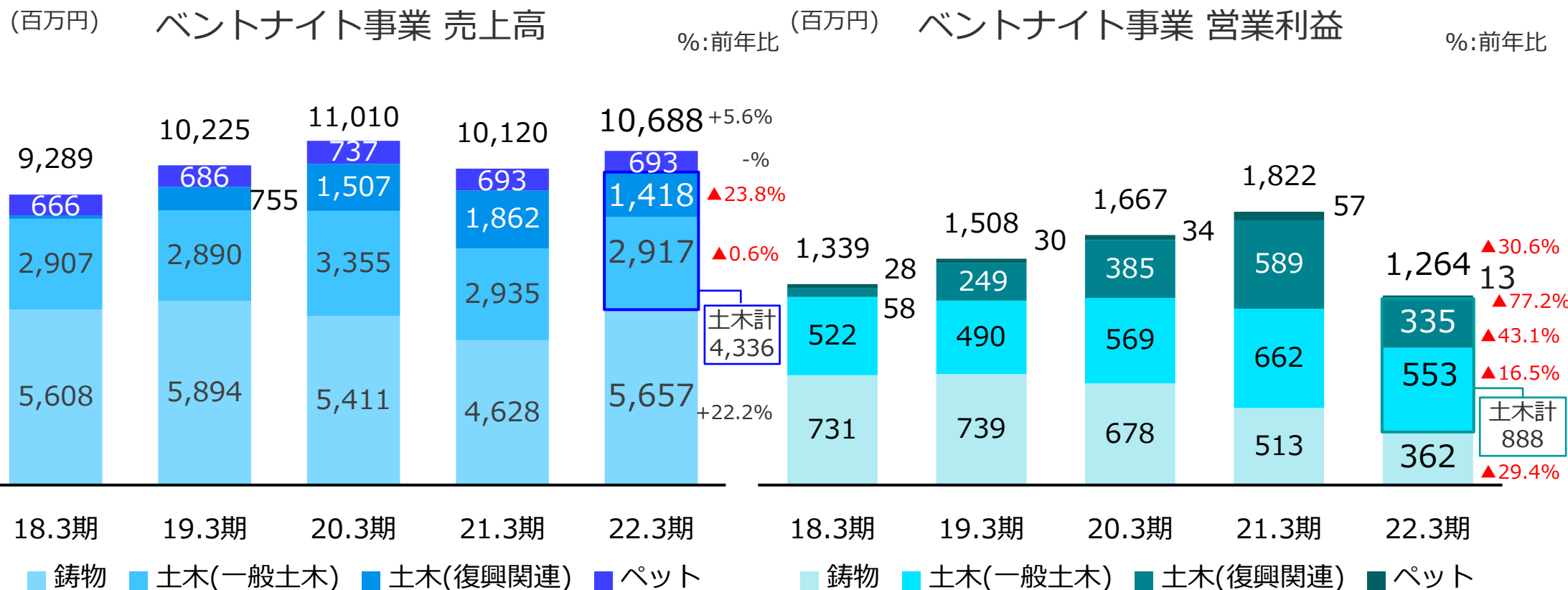
※有価証券報告書上では、ライフサイエンスはベントナイトに含む

セグメント別 営業利益



- ベントナイト…鋳物の回復で増収となるが、原材料高騰により減益
- アグリ…主要納入先の在庫調整により受託量が減少、減収減益
- 化成品…ファインケミカルが輸出向けを中心に伸長、大幅な増収増益
- ライフサイエンス…増収となるが、当セグメントへの販管費配賦割合変更により減益

ベントナイト事業 分野別業績



- 鋳物…自動車関連復調により増収となるが原材料高騰により減益
- 一般土木…大型公共工事遅延により、減収減益
- 復興関連…工期延長による需要先送りがあり、減収減益
- ペット…Eコマースサイト展開遅れもあり、減益

2022年3月期 貸借対照表の概要

2021年3月期末

総資産 24,315百万円

(百万円)

流動資産	2,613	流動負債
	1,898	
16,453	純資産※1	固定負債
	19,803	
固定資産		
7,862	自己資本比率 79.9%	

※1：非支配株主持分は383百万円

流動資産：
現金同等物 9,603

流動負債：
1年内返済長期借入金:75
固定負債：
長期借入金 925

+533
百万円

2022年3月期末

総資産 24,848百万円

(百万円)

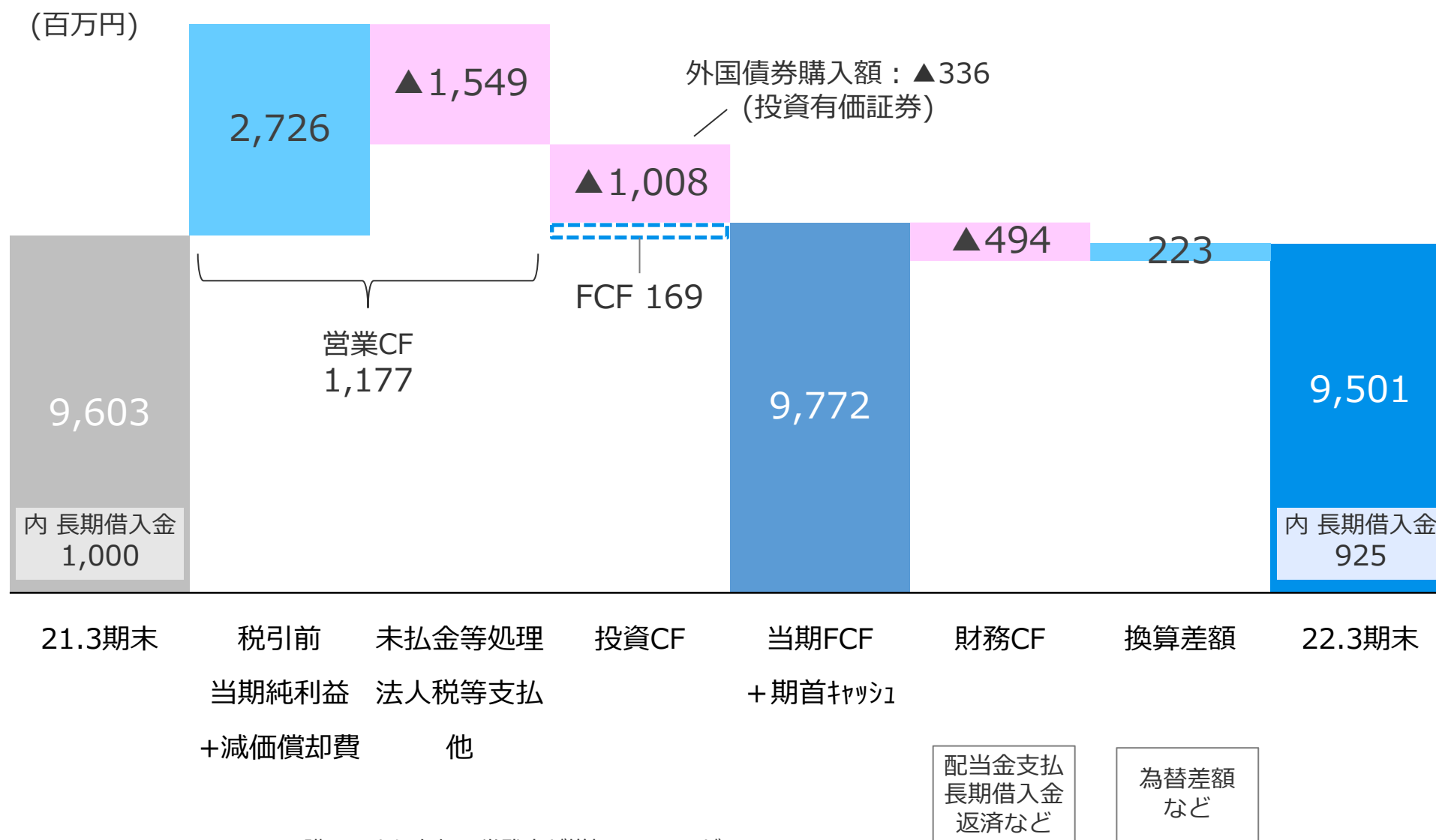
流動資産	2,036 ▲577	流動負債
	1,833 ▲65	
16,781 +328	純資産※2	固定負債
	20,978 +1,175	
固定資産		
8,067 +205	自己資本比率 82.5%	

※2：非支配株主持分は473百万円

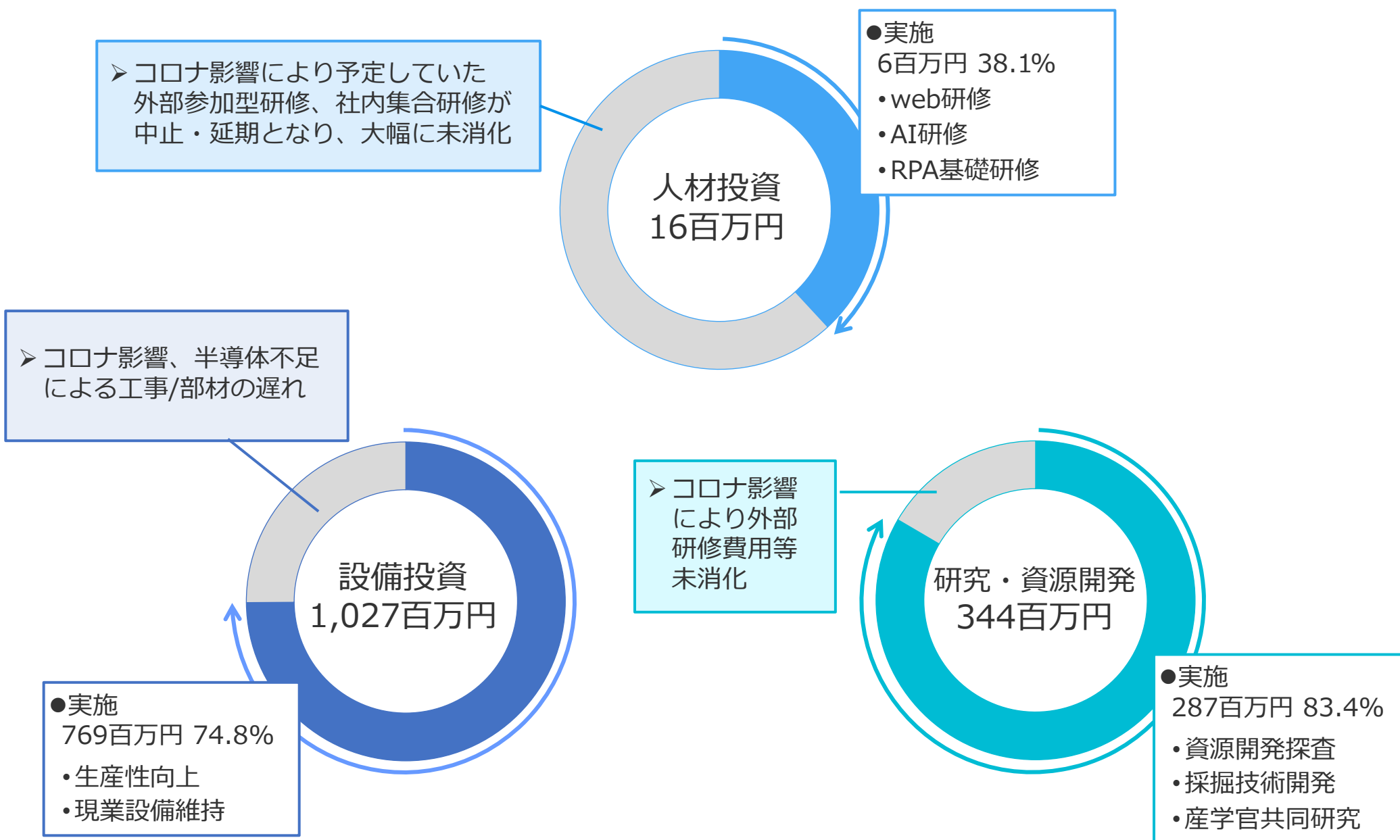
流動資産：
現金同等物 9,501

流動負債：
1年内返済長期借入金:100
固定負債：
長期借入金 825

2022年3月期 キャッシュフロー要約



※MMF：1,069百万円購入により有価証券残高が増加しているが、現金同等物内の増減のためCF計算書上の変動なし



1 業績トピックス

2 2022年3月期 決算概要

3 2023年3月期 予想

4 中期経営計画の状況

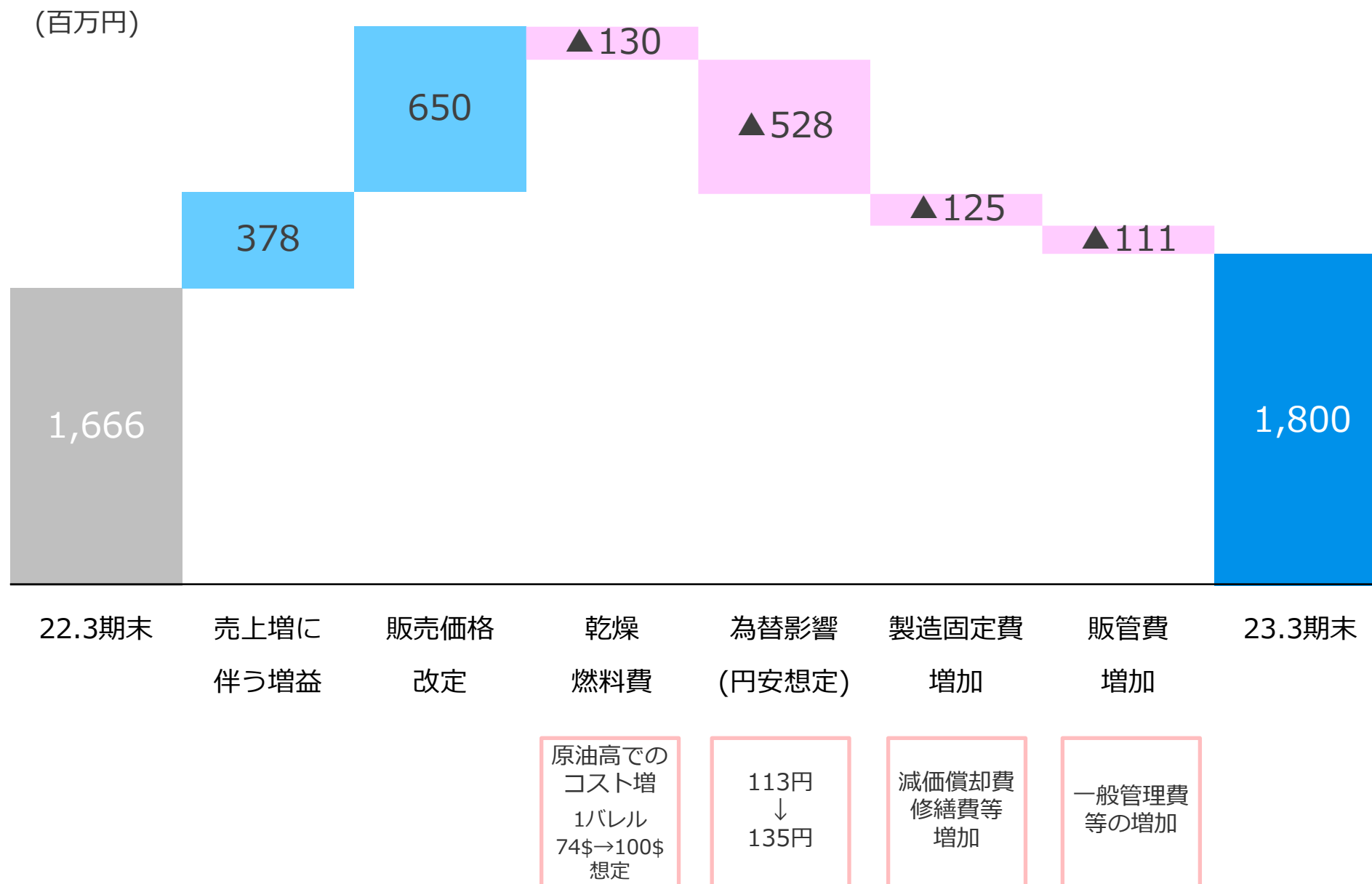
5 サステナビリティへの取り組み

2023年3月期 通期予想

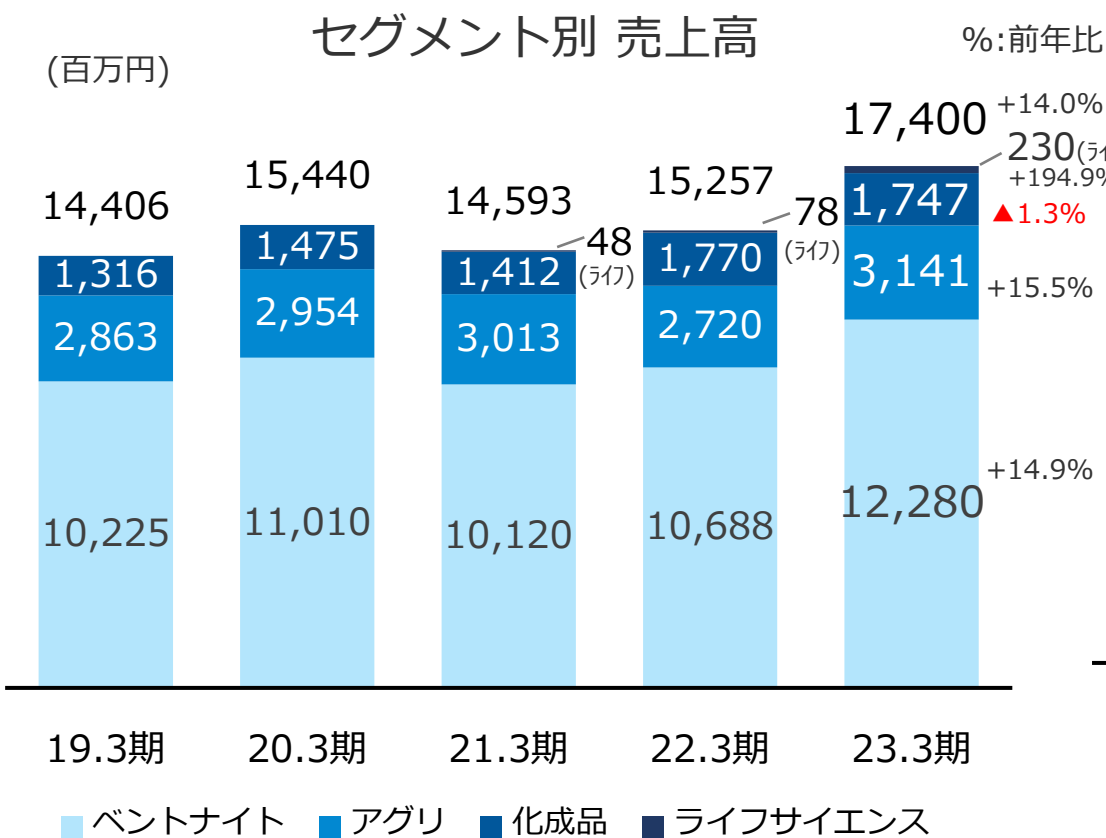
- 販売量の成長、価格改定効果により、増収増益を見込む
 - 想定為替レート：135円/\$、想定原油価格(WTI)：100\$/バレル

(百万円)	2022年 3月期	2023年 3月期	前年同期比
売上高	15,257	17,400	14.0%
営業利益	1,666	1,800	8.0%
経常利益	1,913	2,000	4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,301	1,400	7.6%

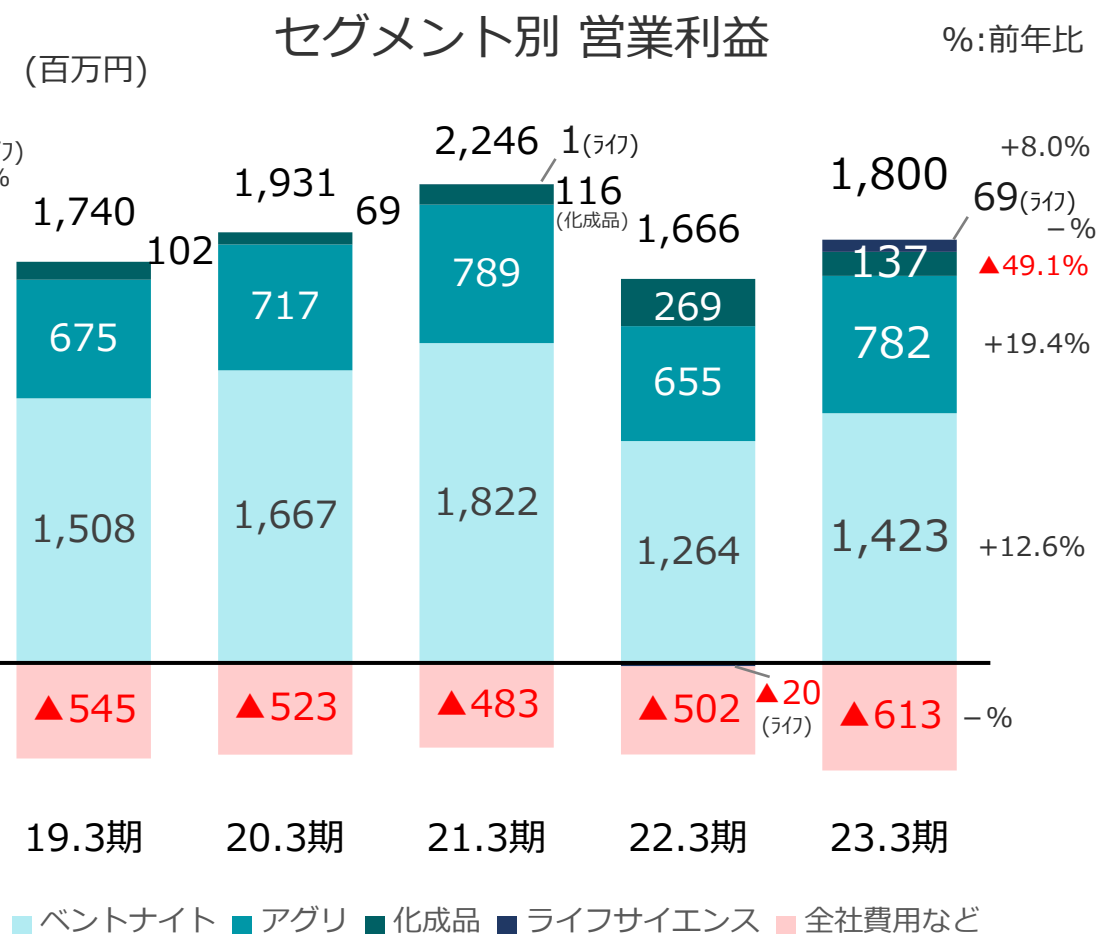
22.3期→23.3期 営業利益増減要因(予想)



セグメント別業績予想（通期）

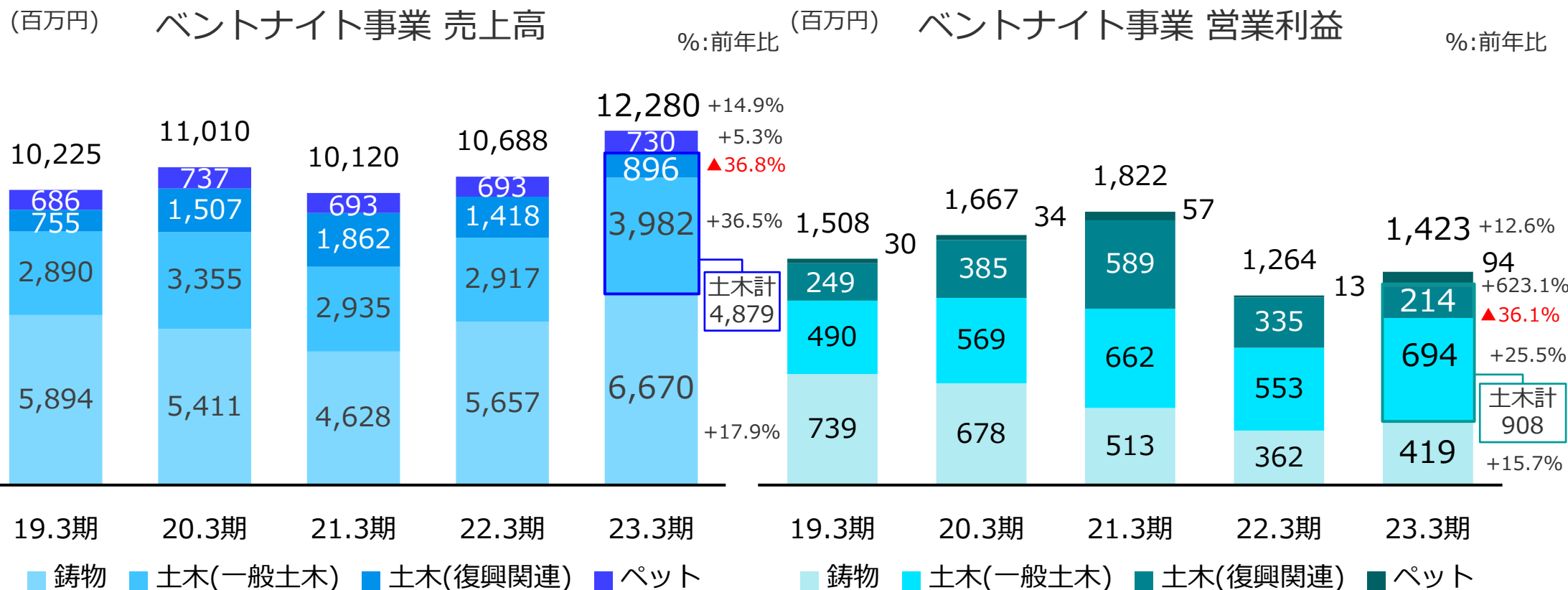


※有価証券報告書上では、ライフサイエンスはベントナイトに含む



- ベントナイト…鋳物・一般土木を中心とした販売量増加と価格改定により、増収増益
- アグリ…受託案件の回復を見込み、増収増益
- 化成品…ファインケミカルを前年同程度で見込むも、原価高騰により、減収減益
- ライフサイエンス…赤潮防除剤等の販売増により、増収増益

ベントナイト事業 分野別業績予想



- 鋳物…販売量増加・価格改定により、増収増益
- 一般土木…大型公共工事取り込み・止水材拡販・価格改定により、増収増益
- 復興関連…工事終息に伴う使用量減により、減収減益
- ペット…Eコマースサイトを通じた販売増により、増収増益

セグメント別 上期下期別業績予想

		22.3期 (上期)	22.3期 (下期)	合計	23.3期 (上期)	23.3期 (下期)	合計
鋳物	売上	2,746	2,911	5,657	3,083	3,587	6,670
	営業利益	288	74	362	131	288	419
土木(一般)	売上	1,437	1,480	2,917	2,099	1,884	3,982
	営業利益	262	291	553	379	316	694
土木(復興)	売上	744	674	1,418	448	448	896
	営業利益	181	154	335	107	107	214
ペット	売上	340	353	693	357	373	730
	営業利益	0	13	13	44	50	94
ベントナイト計	売上	5,287	5,401	10,688	5,988	6,292	12,280
	営業利益	732	532	1,264	661	762	1,423
アグリ	売上	926	1,794	2,720	1,047	2,093	3,141
	営業利益	55	600	655	71	710	782
化成品	売上	904	866	1,770	873	873	1,747
	営業利益	146	123	269	67	70	137
ライフサイエンス	売上	31	47	78	90	140	230
	営業利益	▲10	▲10	▲20	7	62	69
全社費用	—	▲199	▲303	▲502	▲308	▲305	▲613
グループ計	売上	7,150	8,107	15,257	8,000	9,400	17,400
	営業利益	724	942	1,666	500	1,300	1,800

1 業績トピックス

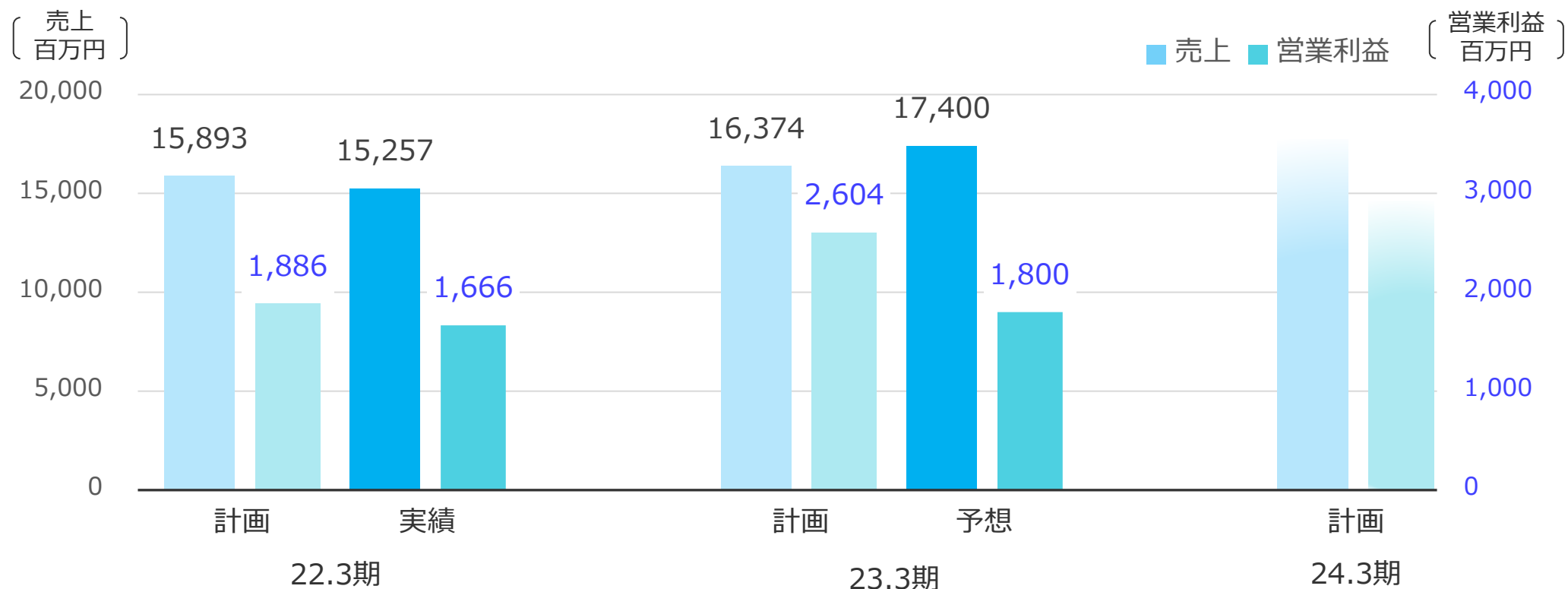
2 2022年3月期 決算概要

3 2023年3月期 予想

4 中期経営計画(3ヶ年)の状況

5 サステナビリティへの取組み

中期経営計画(3ヶ年)目標値および23.3期予想



- 計画は各期の数値を当時のレートで算定(為替：115円/\$、WTI原油価格：70\$/バレル)
- 23.3期は直近のレートを基に計画(為替：135円/\$、WTI原油価格：100\$/バレル)
→ 為替感応度：+24百万円/円高(¥1)、原油価格影響：▲50百万円/10\$上昇
- 外部要因の急激な変化により、現時点では24.3期の適切な将来予測が困難
→ 24.3期の目標値は、合理的な算定が可能と判断した時点で速やかに開示いたします

事業別中期経営計画(3ヶ年)目標値

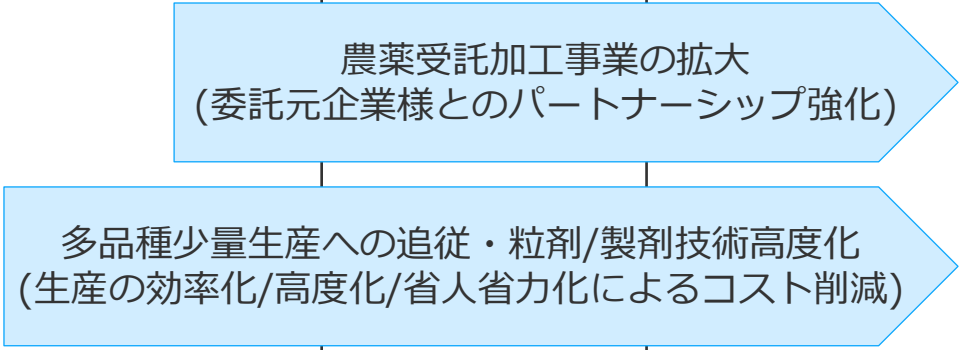
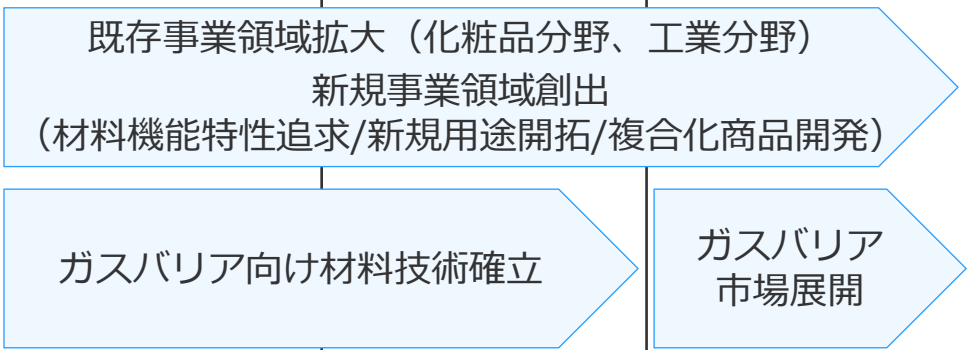
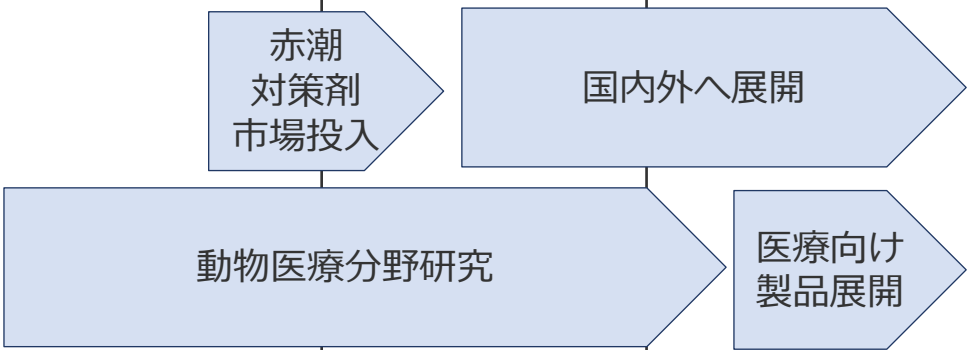
百万円		22.3期 (実績)	23.3期		24.3期
			計画	予想	
鋳物	売上	5,657	5,606	6,670	—
	営業利益	362	815	419	—
土木（一般）	売上	2,917	4,082	3,982	—
	営業利益	553	770	694	—
土木(復興) + 低レベル放射性廃棄物	売上	1,418	1,150	896	—
	営業利益	335	360	214	—
ペット	売上	693	756	730	—
	営業利益	13	140	94	—
ベントナイト計	売上	10,688	11,594	12,280	—
	営業利益	1,264	2,085	1,423	—
アグリ	売上	2,720	3,097	3,141	—
	営業利益	655	850	782	—
化成品	売上	1,770	1,553	1,747	—
	営業利益	269	210	137	—
ライフサイエンス	売上	78	130	230	—
	営業利益	▲20	60	69	—
全社費用	—	▲502	▲602	▲613	—
グループ計	売上	15,257	16,373	17,400	—
	営業利益	1,666	2,604	1,800	—

- 外部要因が計画策定時(為替：115円/\$・原油：70\$/バレル)より大幅に変化
- ベントナイト事業を中心に将来予測が困難なため、合理的な算定が可能と判断した時点で開示

中期経営計画1年目の進捗状況①ベントナイト事業 未来のニーズを創造する クニミネ工業株式会社

分野	活動概要	施策			成果(●)と課題(●) 対応の方向
		22.3期	23.3期	24.3期	
鋳物	● コストダウンによる国内シェア拡大 ➢ 国内新鉱区開発によるコスト低減 ● 海外市場開拓	新鉱区開発	国内鉱活用による利益改善	新規海外原鉱調達・活用した市場占有率向上	● コロナ禍以前の水準に販売量が回復 ● 国内新鉱区開発実施 ● 原価高騰による利益率悪化 ・ 利益率向上による事業安定化(価格見直し・コスト削減)
土木	● 拡大する需要の取込み ➢ 地熱発電/国内インフラ(リニア新幹線等) ➢ 静脈産業(低レベル放射性廃棄物処理等)		カーボンオフセットに向けた地熱ボーリング・大規模インフラ案件取り込み	復興案件取り込み(24.3期終了予定)	● 九州地区半導体工場案件(杭工事向け)受注 ● インフラ案件遅延による業績停滞 ・ 既存製品(止水材)拡販による収益基盤強化 ・ 大型案件受注への対応
ペット	● D2C事業によるブランディング ➢ ペット事業のトータルブランド化 ・ 新ブランド「RAGDOLL」	ECサイト開設	D2C事業拡充(コトつきのモノ展開)	ECサイトコンテンツ(商品・サービス含む)企画・開発	● ECサイト開設・ペットフード事業展開 ● 市場での認知度が低い ● 高利益率への転換 ・ ブランド認知の向上 ・ D2C事業での高収益品販売

中期経営計画1年目の進捗状況②各事業

事業	活動概要	施策			成果(●)と課題(●) 対応の方向
		22.3期	23.3期	24.3期	
アグリ	● スマート農業への対応 ➢ 製剤技術高度化				● 新規受託ビジネス拡大に向けた設備増強 (種子コーティング) ● 委託元の状態により業績が大幅に変動 ● 新規案件獲得/既存案件継続 ● 生産能力向上とコスト削減
化成品	● ファインケミカル分野の拡大 ➢ 国内外/化粧品等 ● 研究開発の継続/加速				● 工業分野における販売量増加 ● JAXA共同研究開始 ● COSMOS認証取得(クニピア) ● 既存販売領域の衰退シフト ● 原価高騰による利益率低下 ● 既存領域拡大と新規領域創出 ● コスト削減と販売価格見直し
ライフサイエンス	● 新商品市場投入 ● 飼料分野の拡大 ● 動物医療分野での用途研究				● 赤潮防除剤上市 ● 既存品(赤潮防除剤)の置換え ● 新規工リア開拓に時間を要す ● 商社と連携した市場カバー ● 産学官連携での用途研究継続

中期経営計画最終年度に向けて

鋳物



- 国内外新原鉱活用による市場占有率向上

アグリ



- 委託元とのパートナーシップ強化による新規獲得

土木



- 低レベル放射性廃棄物処理案件獲得

化成品



- ガスバリア市場展開

ペット



- ブランド認知向上
- サービス/商品企画開発

ライフサイエンス

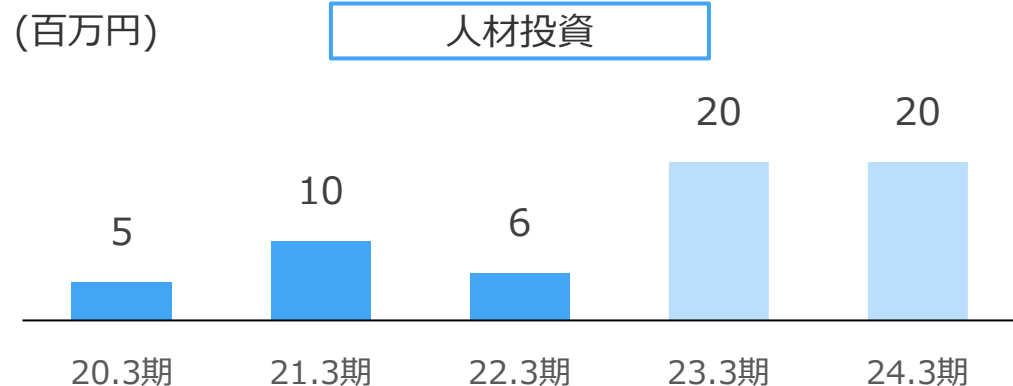


- 動物医療分野製品化・市場投入
- 肥料用途製品上市

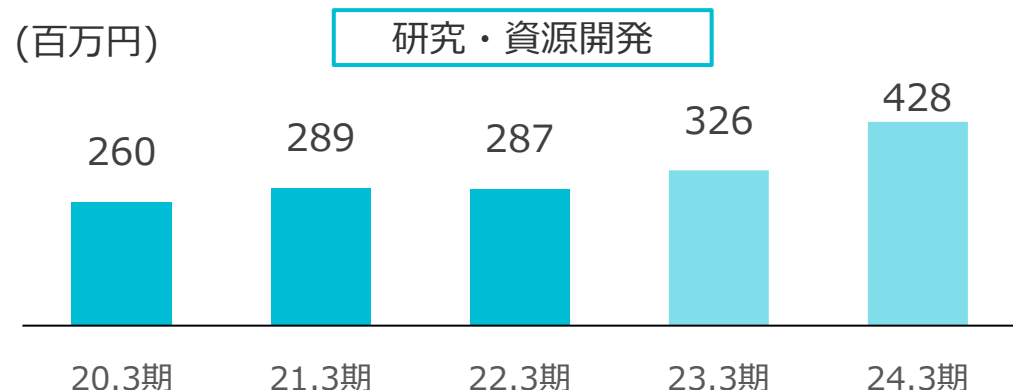
経営基盤強化

- 産学官連携強化による新規分野研究開発
- 生産性向上によるコスト構造最適化
- 人材投資・デジタル技術活用

投資計画の状況

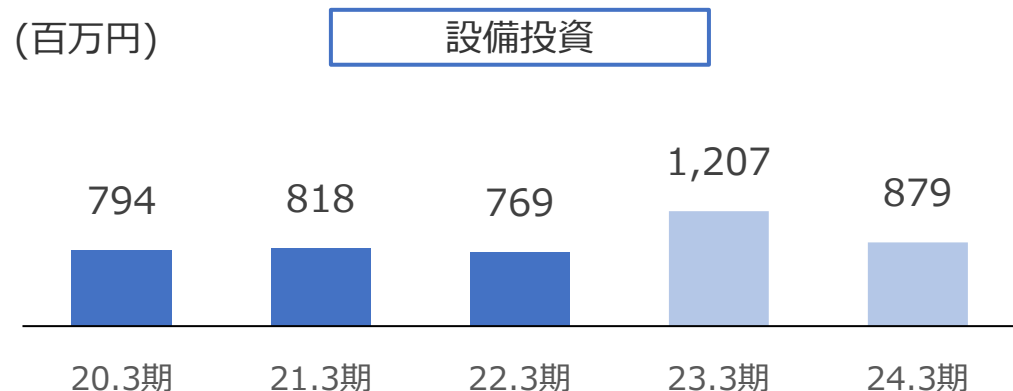


- 先端技術研修、経営層育成研修を継続
 - ・ 社内AIプランナー・エンジニアの育成に向けた教育の実施
 - ・ RPA全社導入に向けた教育・研修実施
 - ・ 次世代経営層育成に向けた研修

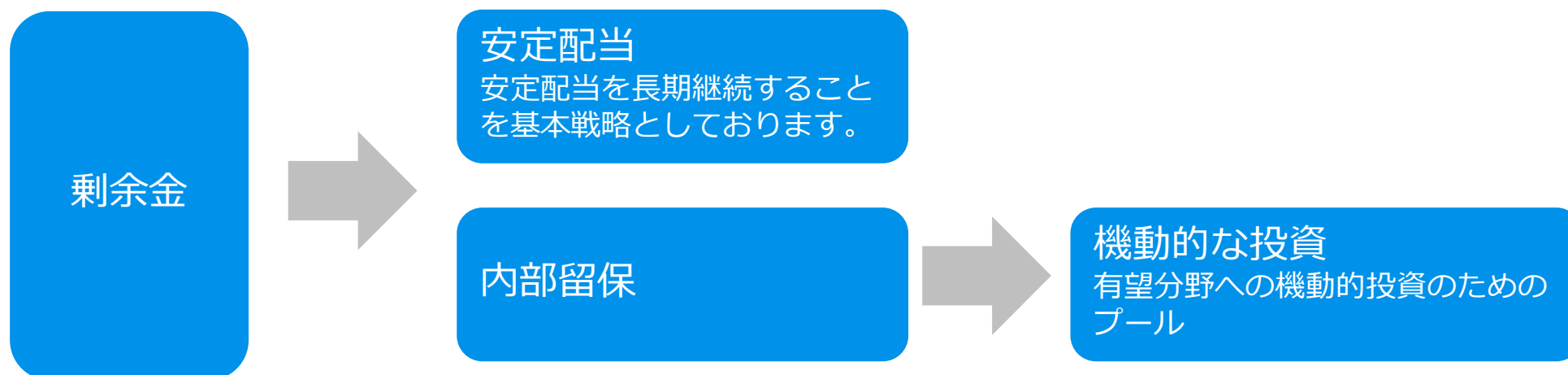


- 採掘技術の開発をスピードアップ
- 成長領域での研究開発推進
 - ・ ファインケミカルを中心とした技術開発
 - ・ 各領域での産学官連携による新用途研究

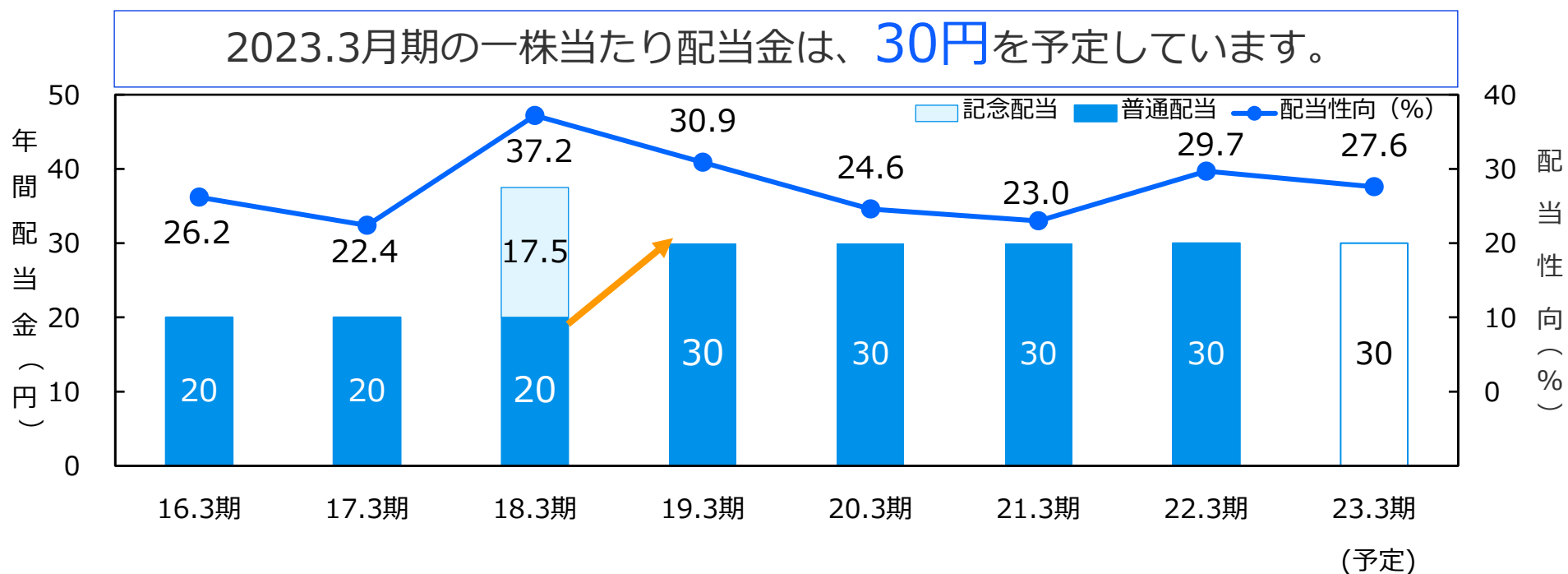
※ 資源開発費を含む



- 成長領域への設備投資強化
 - ・ 土木分野需要増に向けた生産設備の強化
 - ・ ガスバリア向け(クニピア)量産設備の導入
- CO2低排出設備導入(拠点照明LED・EV/HV)



持続的な企業価値向上に努め、配当性向30%を目安として株主へ安定的・継続的な利益還元を行ってまいります。



1 業績トピックス

2 2022年3月期 決算概要

3 2023年3月期 予想

4 中期経営計画の状況

5 サステナビリティへの取組み

■ 当社グループにおけるサステナビリティの考え方・基本方針

クニミネ工業グループは『経世済民』の経営理念を掲げ、貴重な地下資源であるベントナイトを中心に、高付加価値商品やサービスの展開により基幹産業を支え、国の繁栄に貢献してまいりました。

当社が中核事業として取り扱うベントナイトは、自然環境への負荷が少なく、生命体と環境にやさしい無機鉱物です。この貴重な資源を科学し、未来のニーズを創造することで、社会への価値を提供していきたいと考えています。

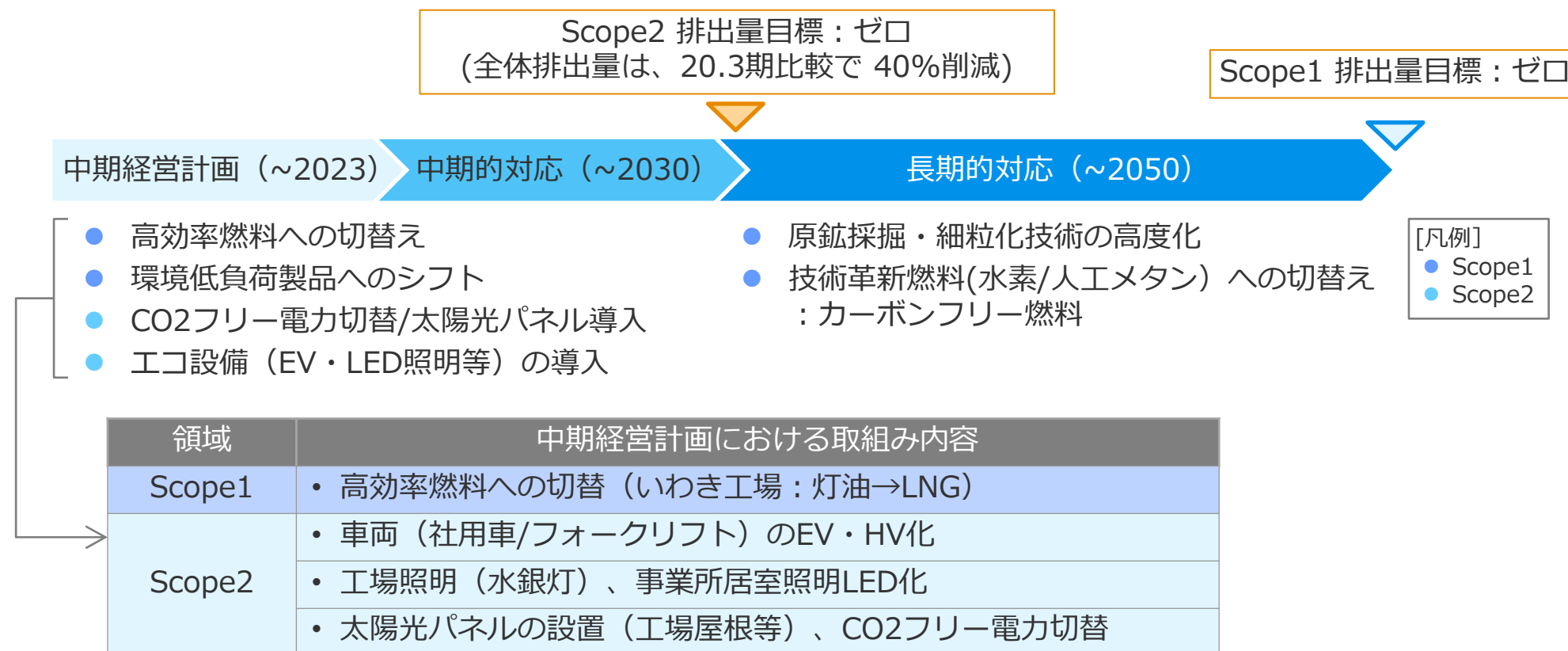
当社グループの技術を活用して、廃棄物処理などの社会課題の解決や、新たな産業を支援・創出していくことがESGへつながる取り組みと考えており、事業活動を通じて社会的な目標であるSDGsの達成を目指しております。

環境 (E)	社会 (S)	ガバナンス (G)
● 気候変動問題対応 (土木部門) ⇒脱炭素事業…地熱発電 ⇒静脈産業…低レベル放射性廃棄物処理 ⇒自社CO2排出量削減	● 食料自給率向上 ⇒畜産養殖生産性向上 (ライフサイエンス部) ⇒農業生産性向上(アグリ事業部) ● 新素材開発(化成品事業部)	● 3分の1以上の社外取締役確保 ● コンプライアンス基本方針・規定、社員倫理行動規範の順守 ● 内部通報制度活用による不正行為早期発見
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 11 住み続けられる まちづくりを 13 気候変動に 具体的な対策を	2 飢餓を ゼロに 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 14 海の豊かさを 守ろう	12 つくる責任 つかう責任 16 平和と公正を すべての人に

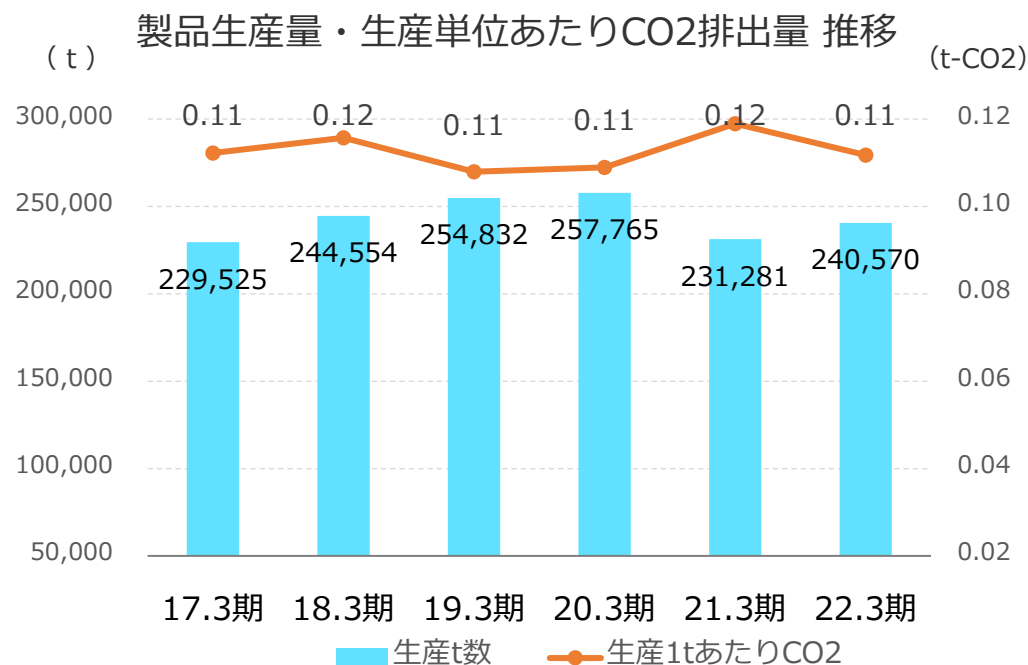
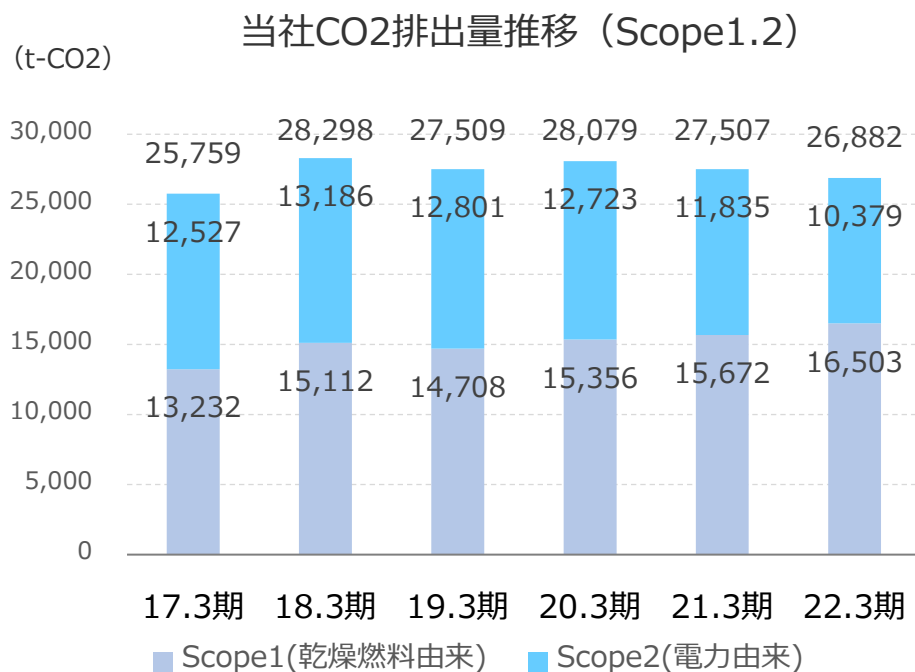
カーボンニュートラルに向けた取組み

■ カーボンニュートラルに向けた中長期的対応

- 中期的な対応（～2030年）はCO2削減を重点課題とし、太陽光パネル・水力発電(小規模)・高効率燃焼設備・各種省エネ機器等のあらゆるエコ設備の導入を、可能な限り進めていく
- 長期的な対応（～2050年）では、Scope1のCO2削減に向け、原鉱の採掘段階から見直しを進めていく。具体的には原鉱の含水率低減を狙いとし、採掘技術・細粒化技術の高度な開発を進めることで製造工程の大幅な見直しを図る。加えてコストダウンも進め、競争力強化にもつなげていく



CO2排出量の状況



■ 当社グループCO2排出量の状況

- 22.3期はScope2(電力由来)の排出量が減少し、前年から625t-CO2(約2%)の排出量を削減
- 排出量の総量は減少したものの、生産量の増加に伴いScope1(乾燥燃料由来)の排出量は増加
- カーボンニュートラルの達成に向け、Scope2を中心とした削減を進めるとともに、高効率燃料への切替えを図ることで、生産単位当たりのCO2排出量削減を進めていく

* Scope 1 : 製造等での燃料使用によるCO2直接排出
* Scope 2 : 購入した電気の使用によるCO2間接排出
* 各数値は省エネ法に基づく定期報告値より作成

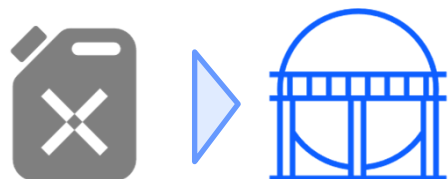
中期経営計画期間(～24.3期)における取組み内容

■ 中期経営計画期間（～24.3期）における取組み内容

- 22.3期からの中期経営計画では、生産単位あたりCO2の削減と、2030年のScope2 排出量目標：ゼロの達成に向け、エネルギーの代替・設備の導入を推進
- 具体的には24.3期までを目標に、以下の4つの取組み（①高効率燃料への切替、②車両のEV・HV化、③照明LED化、④発電設備導入）を進め、CO2排出量増加を抑制

①高効率燃料への切替（いわき工場：灯油→LNG）

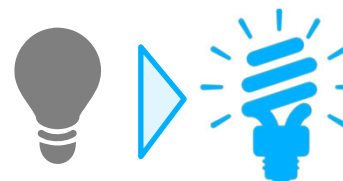
- 高純度品(クニピア・スメクトン等)の乾燥工程で使用する燃料を高効率のLNGに切替ることで、CO2排出量を削減



期待効果：
900t-CO2削減

③工場照明（水銀灯）、事業所居室照明LED化

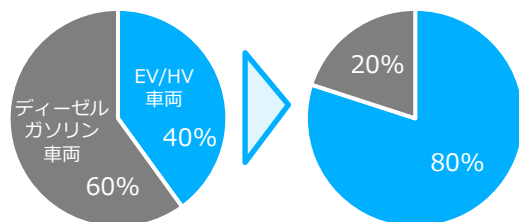
- 工場で使用されている水銀灯と、事業所居室の蛍光灯照明のLED化を推進



LED化目標：
50%(現状) →100%

②車両（社用車/フォークリフト）のEV・HV化

- 車両を現場環境(気候条件・敷地内傾斜)に応じて、EV・HV化を促進

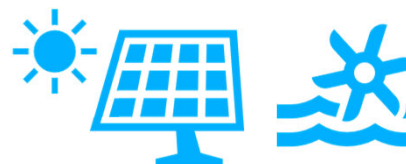


目標：80%
現場環境を加味した
最大値



④発電設備導入(太陽光パネル・小規模水力発電)

- 工場建屋への太陽光パネル設置を推進。日照・気候条件と建屋耐久性等から最適な方法を検討
- 工場近隣の河川・用水路での水力発電設備設置可否確認



各地区工場の環境条件
を確認中

■ 御津工場CO2フリー電力へ切替



2021年10月から、当社御津工場(愛知県豊川市)で使用する電力を再生可能エネルギー由来のCO2フリー電力に切り替えました。

これにより、当工場の電力は再生可能エネルギー100%に切り替わり、電力使用によるCO2排出量は0(ゼロ)となります。

想定しているCO2削減量は、年間で▲630t-CO2を見込んでおり、当工場の排出量の約50%、グループ全体の排出量では約2%のCO2削減となります。

■ 電動フォークリフト導入



当社ではグループ全体で車両(社用車/フォークリフト)のEV・HV化を進めています。22.3期は蔵王工場では電動フォークリフト(コマツ FE30)を導入し、各地域の車両も更新タイミングに合わせて切替を順次実施していきます。

車両のEV・HV化を進める事でCO2削減を図るとともに、従業員の環境対応の意識づけを高め、カーボンニュートラルの達成に向けて全社一丸となって取り組んでいきます。

■ 阿賀のゆクレイパック



新潟県阿賀町にある八つの温泉の源泉を使ったクレイパックが、当社グループの関ベン鉱業株式会社より発売されました。

阿賀町は新潟県の東部に位置する水と緑の美しい町で、八つの源泉を有する温泉地域でもあります。

温泉とベントナイトの二つの大地の恵みから、クレイパックという新たな価値を創造し、商品を通じて地域の魅力をお届けすることで、地域活性化に取り組んでいます。

当社グループは企業と地域、人を結び、これからも新しい価値を提供してまいります。

■ 天然ジビエペットフード



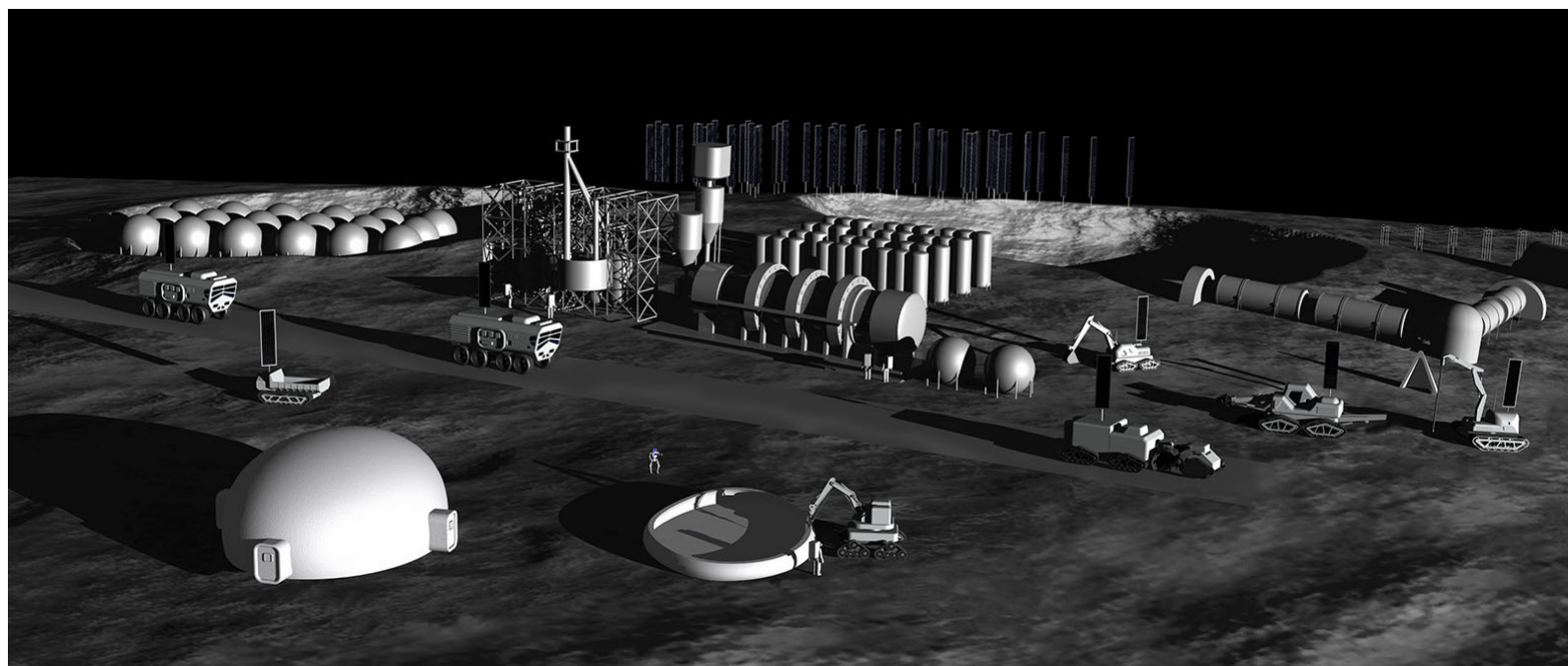
ペット事業を展開するクニミネマーケティング株式会社より、ヒューマングレードの天然ジビエペットフードが発売されました。

同社はペット用トイレ砂中心の事業から、生活や健康などの幅広い領域でお客様のニーズを実現するため「家族皆が幸せでいられますように！」というコンセプトを新たに設定しました。

そんな思いのもと発売したのが、ペット、オーナー様ともども喜んでいただける安心・安全な「天然ジビエペットフード」です。原材料は害獣として駆除された動物を使用し、命を無駄にしないという社会的責任も、開発を始めたひとつの要因となっております。

これからも、ペットとそのオーナー様が笑顔になれるような商品やサービスを提供し続けてまいります。

補足資料



※画像:JAXA | 宇宙探査イノベーションハブHPより引用

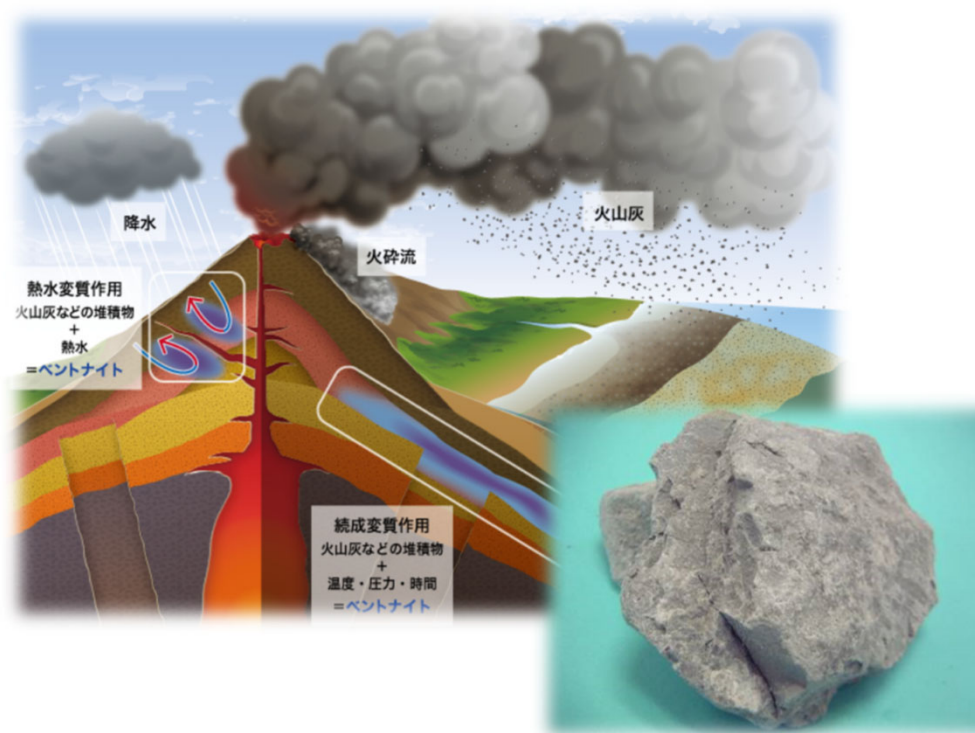
- 2021年10月に、JAXA宇宙探査イノベーションハブに当社研究テーマ提案が採択されました（テーマ名：「月面で使用可能な軽量の水素遮蔽コーティング材料の開発」）
https://www.ihub-tansa.jaxa.jp/topics/RFP_announcement7.html
- 本テーマは、気体分子のなかでも遮蔽が難しいとされる水素に対するガスバリア性能確立を基本技術とし、さらにガス透過で課題とされる高温領域でも遮蔽性能を維持できるバリア材料の開発を目指すものです。2021年12月より、JAXA、産業技術総合研究所と当社の3機関連携で共同研究を開始しております。

●ベントナイトとは？

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

ベントナイトは、水中で吸収すると膨潤し、さらに分散させると粘性を示します。また、各種陽イオンを吸着できる能力など、様々な特性を持っています。

このような特性を有していることから、鋳物、土木建築、ペット用トイレ砂や化成品など、利用される産業分野は非常に多岐にわたっています。そのため、ベントナイトは"1,000の用途を持つ粘土"とも称されています。



鋳物部門



自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材とした砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。

鋳物部門では、ベントナイト製品の販売のみではなく、お客さまに対し最良の生産環境を構築するためのサポートも行っています。

鋳物砂の分析を行っている黒磯研究所では、お客さまの様々なニーズに応え、当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。

主力商品

- クニゲルVAS ●クニボンドTY ●ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ ●「クニボンドTY」シリーズ

土木建築部門

アースドリル工法などの杭基礎の掘削工事時にはベントナイト泥水を使用することにより、粘土分で孔壁に膜を形成し、水の浸透による孔壁崩壊を防止しています。

また、ベントナイトの遮水性を活かし、一般廃棄物処分場の遮水工事にベントナイト混合土が用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用されています。

放射能汚染廃棄物の処分場向けにおいても、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れるベントナイトのニーズが高まりつつあり、再生可能エネルギーである地熱発電や海底資源掘削向けなどを中心にボーリング需要も増加しています。



「クニシール」

主力商品

- クニゲルV1 ●クニゲルV2 ●クニゲルGS ●クニゲルGT
- クニゲルU ●クニゲルU ●クニキャップTG ●クニシール
- クニシート

ペット関連部門



当社新ブランド「RAGDOLL」公式Instagram



ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ迅速な対応を図ってまいります。



主力商品

- RAGDOLL プレミアムサンド ● 天然ジビエペットフード
- 猫砂1番 ● 猫砂1番金印 ● 猫砂1番大粒

アグリ事業

製剤技術に強みをもつ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

主力商品・サービス

- 農薬受託加工
- クレー細粒剤 ● クニゲルV1
- 天竜 ● 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ



化成品事業

ファインケミカル分野のうち、ベントナイトの主成分であるモンモリロナイトの純度を高めた精製ベントナイト「クニピア」は、保湿性や伸展性、増粘性が向上し、私たちの毎日の生活に欠かせない化粧品・塗料・医薬品などに配合されています。

また、合成スメクタイト「スメクトン」は、高粘性や高チクソ性を発揮する特長を活かし、透明性のある増粘剤や機能性向上剤として、幅広い分野で利用されています。

「環境保全処理剤」は、清掃工場の大気汚染防止など、排ガス処理工程において利用されています。

主力商品

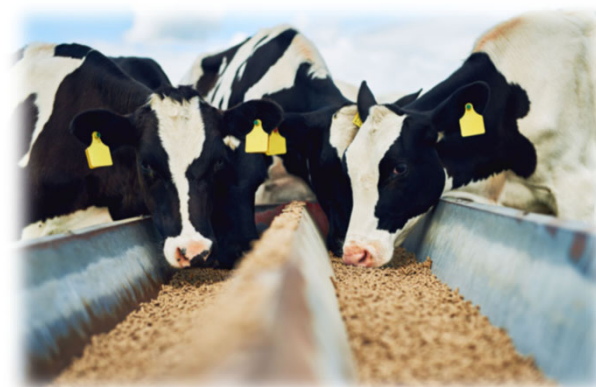
- 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ
- 環境保全処理剤



ライフサイエンス事業

生命を事業領域とする当事業部では、既存事業として「飼料添加物」「食品添加物」用途への展開を行っています。「飼料添加物」分野においては、当社ベントナイトは、カビ毒吸着能に加えたたんぱく質毒素を吸着する付加価値を有しており、飼料添加物として活用することで、畜産業界の治療から予防医療へのニーズシフトに対応しております。これらを生産者様に提供することで、飼料で多用される重金属の低減が可能になるなど、家畜および環境への負荷低減が期待されています。現在、環境負荷低減に向け、金属成分から生命にやさしいベントナイトへの置き換えを進めています。

また、付加価値の高い「食品添加物」や、新規分野「土壌改良」「動物医薬」用途なども、産学官連携による「オープンイノベーション」を活かした活動から新しい付加価値を創造し、順次市場に提供して参ります。



主力商品

- クニボンドRT
- ダブルボンド
- ダブルフリー
- 土壌改良剤

ご視聴ありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

IRお問合せ先

<https://www.kunimine.co.jp/toiawase/ir.html>